

気軽にご相談ください

あなたの地域の 民生児童委員です



民生児童委員協議会長 東方紘さん(中央)
副会長 鈴木桂子さん(左)
同 中谷 清さん(右)

行政区	氏名	電話
幸 町	種崎 行夫	23-2963
"	高木 美津子	22-3495
弥生(大町)	大津 博子	23-2730
弥生(泉町)	岡本 妙子	23-2413
旭 町	菅 利春	23-3539
万代町	小林 初美	23-2783
白樺町	千葉 百合子	23-2906
北栄町	木村 みどり	23-3541
"	堀内 教子	23-1608
錦 町	河村 宏樹	23-2776
末 広	須藤 勝子	23-3683
美 里	鈴木 桂子	23-3043
西 町	佐藤 初江	23-0697
"	宮中 由香里	22-4032
元 町	田淵 恵子	23-3750
"	山下 恵美子	22-2101
緑 町	小林 リュウ	23-1746
東 町	岩渕 啓子	23-0703
春日町	田畑 育美	23-1289
"	神田 設	23-0281
栄 町	湯浅 淑子	23-3625
下川町	常本 孝子	23-1074
六軒町	菅 純子	23-1523
"	佐々木 揚子	23-3240
弁華別	押野見ミツ子	22-3538
茂平沢	阪本 勝子	22-3632
みどり野	徳光 喜久子	23-3623
青 山	山崎 百合子	27-2371
中小屋	津川 輝雄	27-2292
金 沢	千田 良子	23-1587
樺戸町	高田 克雄	23-2838
東 裏	中谷 清	22-3343
東蕨岱	菊田 英雄	22-3160
蕨岱町	榮田 勲	22-3201
対 雁	倉知 包子	23-3306
川下右岸	畠山 貞一	26-2663
川下左岸	鈴木 助信	22-3278
太美寿	齊藤 昭子	26-2444
太美北	植松 泰宏	26-2368
太美東	松崎 キミ子	26-2029
"	袴田 万紀子	26-2262
太美中央	平 よね子	26-2311
太美西	金子 景次郎	26-4019
太美南	山田 由紀江	26-2263
当別太	佐々木 悟	26-2608
太美スターライト	大坪 圭子	26-3916
ビトエ	河野 和義	26-2467
高 岡	曾川 昭治	26-2609
獅子内	高島 弘見	26-2807
スウェーデンヒルズ	土井 幸枝	26-3286
上当別	東方 紘	26-2317
若 葉	伊東 譲司	23-3434

昨年12月の改選で9名の委員が入れ替わり、気持ちも新たに新年を迎えました。現在、52名の民生児童委員が各地域で活動しています。福祉関係を扱うことが多いので地域に目を向けた活動を行うために、行事などにも参加して皆さんに顔を知ってもらい、プライバシーを守り信頼されて相談していただけるよう心がけています。そのため、高齢者福祉や児童福祉など4つの部会、東西南北に分けた地区会、女性委員会など3つの委員会を組織して、きめ細かな活動に取り組んで

(談話) 当別町民生児童委員協議会 会長 東方紘さん

います。昨年は、各地域の学校前で委員が挨拶運動を行い、子供たちと元気の挨拶を交わしたり、以前に道外研修をした大阪府の忠岡町民生児童委員会の皆さんが来町し、情報交換など研修を重ねました。さらに、医療大学の先生に講演していただいたりと、委員の資質向上にも努めています。子供が健やかに、お年寄りが安心して暮らせることを願いますので、困ったことがあれば、地域の民生児童委員にご相談ください。

私たちはこんな活動をしています

各学校で挨拶運動



地域の方の訪問や相談



各方面でボランティア活動



研修会や講演会で資質の向上



(敬省略)



行財政システム再構築プラン

プランに対する

ご意見を

ありがとうございます

ございます



昨年12月に「行財政システム再構築プラン（素案）」を町民の皆さんにお配りし、内容についての意見を募集（1月14日まで）したところ、16個人・団体から、66件のご意見が寄せられました。今月は、お寄せいただいた意見の主なものを掲載し、町の考え方は、今後の町広報誌やホームページで、お知らせします。

数値目標が見えてこない

素案全般に、抽象的な内容が多く感じ、はつきりとした目標が見えてこない。今後、具体的な数値目標が盛り込まれるものと期待している。

近隣との市町村合併

地方交付税が減少するのであれば、札幌市・江別市・石狩市などの近隣の都市と合併した方がメリットがあるのではないかと。

委託業務は地元企業に

地域経済に寄与するために、町が委託発注する業務を地元企業が受注できるように検討すべきではないか。今後の行政は、地元企業の育成を視野に入れながら業務を行うべき。

老人医療費給付事業などの廃止

行政サービスの見直しとして、老人医療費給付事業の廃止、訪問看護ステーション利用者交通費助成の廃止等があるが、基本的に同意しかねる。関係者の意見もよく聞いて検討すべきと考える。

常設保育所の建替え方法

建替えに当たっては、厳しい財政状況の中、民間で建設し、町が賃借する方式としてはどうか。

施設使用料の見直しを

施設使用を何でも減免というのは、再考すべきではないか。町はハードを提供し、使用者が使用料を負担するのが本来の姿と思う。

議員定数と報酬削減

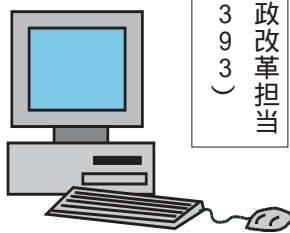
各種の経費を削減するのであれば、議員定数や報酬を削減するのが先決ではないか。

農業委員の定数削減

以前から見ると農家戸数が大幅に減少している。農業委員の定数を半分程度に減らしてもいいのではないかと。

企画部行財政改革担当

（☎ 23 2393）



町長の日記

17年1月17日(月)

尾崎紅葉の小説「今色夜叉」の一節で貫一が好きだったお宮に「今日は1月17日、来年の今月今夜、十年後の今夜この月がもし曇っていたら、僕の涙で曇ったと思ってくれ」と云う名文句はその後、映画や芝居で一世を風靡した名作である。

然し平成の時代になってこんなことを知る人は少なくなったが、今日「1月17日」は阪神淡路の震災から10年目だがほとんどの国民が覚えているようだ。

忘れられない大災害の起きた日だった。

特に最近では台風や地震による大災害が続いてよけいに記憶がよみがえっている。

昨年当別も台風18号で農業被害は大きかったが人命にかかわるような被害はなかった。当別にも何千年に一度の確率の活断層はあると云われているが、この町で心配なのは何と云っても水害である。

今年の夏6月に石狩川水防演習を当別川の河川敷で行うことになった。

毎年開発局が主催で5,000人程度の人が集まる大演習であるが、予測を越える災害が起きる時代なので、当別町で実施が決まった機会に、町民参加で災害時の地域連携を訓練してもらいたいと思う。

有難いことに30haもの演習跡地を当別町で活用させていただける予定なので、今後多目的のすばらしい広場にしたいと思う。

明治時代の「失恋と復讐の小説」の中の1月17日は人々の記憶からどんどん消えて行く。かわりに平成の1月17日が人々に与えた衝撃の地獄のような「悲劇と博愛の現実」は簡単に消えそうもない。10年前の今日「命拾いをした」と電話で震えていた叔母が今朝「近所の人に支えられてまだ生きているよ」と云っていた。本当に頼れるのは隣近所だと云っているように感じた。

水防演習と跡地の広場で人と人の信頼が強まれば災が福になるだろう。

当別町長泉亭俊考